2024 VVI Newsletter, Autumn Issue

　みなさんこんにちは。長く、ながく続いた猛暑の夏！皆さんしっかりのりきって,今日を迎えていらっしゃるでしょうか。朝の風に、ようやく少しだけ秋を感じられるようになったかなと思い、「秋号」と題してお送りします。

今回は、毎年10月に開かれるCWAJ 現代版画展と、同時に開かれるHands-on Artへのご案内が中心です。年にいちど、皆さんと共に「アートに触れる」この機会に、是非お一人でも、ご家族、ご友人とごいっしょでも、お出かけください。

また、今年もCWAJ奨学金制度への募集が始まりました。CWAJ独自の、日本で希少な視覚障害学生対象の制度です。ご自身はもちろん、身近にいらっしゃる「勉強を続けたい！」と思っておられる方にご紹介いただけるよう、ご参照ください。

**＜もくじ＞**

1. 第67回CWAJ 版画展ご案内　　　　Gemma Fujitani （ジェンマ・フジタニ）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（CWAJ 現代版画展実行委員）

２．2024年Hands-on Artへのお誘い　　　　Nancy Tsurumaki（ナンシー・ツルマキ）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　田中　紀子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（2024年HoA 担当コーディネイター）

3.　CWAJ奨学金制度：視覚障害学生奨学金について

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　田中　紀子（視覚障害学生奨学金制度担当）

**＊ここから記事がはじまります。**

１．第67回CWAJ現代版画展のご案内

 　ジェンマ・フジタニ　（版画展実行委員）

第67回CWAJ現代版画展では、新進の優れた版画作家による、207の現代版画が

ギャラリーを飾ります。権威ある審査を経て展示販売される作品は、伝統的なスタイル

に抽象的、またポップなものまで、幅広いジャンルや形式のもの、そして様々な技法の

作品が含まれます。

10月16日水曜日から20日日曜日、午前11時から午後6時（日曜日は5時）まで

会場は、代官山にあるヒルサイド・フォーラム（東京都渋谷区猿楽町18-８）です。

つぎに。CWAJ創立75周年記念特別展のご案内です。

先駆者たち：5人の女性作家：篠田桃江、吉田千鶴子、岩見麗華、柳沢紀子、辰野妙子は、型を破りステレオタイプの作品に対抗し、現代女性作家のモデルとなっています。この5人の作品の特別展が開かれます。是非この機会をお見逃しなく。

会期１）10月8日～11月5日

会場：東京アメリカンクラブ内（B1階）フレデリック・ハリス画廊

　　　　　　　　（東京都港区麻布台2-1-2）

会期２）10月16日～10月20日

　　　　　会場：　ヒルサイド・フォーラム（現代版画展会場内）

CWAJ現代版画展オンラインギャラリー

10月22日（火曜日）午前9時から、10月27日（日曜日）午後6時まで展示・販売されます。

すぐ下にあるURLをクリックすることで、鑑賞と購入ができます。

海外に出荷も可能です。URL:https://cwaj-gallery.jp

そして今年もまた、ハンズ・オン・アートが開催されます。CWAJ版画展独特のこのプログラムでは、

展示されている版画のなかから選ばれた作品を、視覚障害をお持ちの参加者のために創られた

立体コピーに、手で触れて鑑賞していただくことができます。

第67回CWAJ版画展に、是非お出かけください。お待ちしています。

ここに、ジェンマ・フジタニからの英語のオリジナルメッセージを載せます。

The 67th CWAJ Print Show will feature 207 contemporary prints by established and emerging artists. This prestigious juried exhibition and sale offers a wide range of styles, from traditional to abstract to pop, in a variety of mediums.

October 16(Wed) – 20 (Sun), 11 am – 6pm (last day 5pm)

Hillside Forum F (Daikanyama)

18-8 Sarugaku-cho, Shibuya-ku, Tokyo

**CWAJ’s 75th Anniversary Special Exhibition:**TRAILBLAZERS -Five women artists who paved the way for future generations: SHINODA Toko, YOSHIDA Chizuko, IWAMI Reika, YANAGISAWA Noriko, TATSUNO T**a**eko.

A rare opportunity to savor the precious artwork of five women who shattered molds and challenged stereotypes, becoming role models for generations of women artists. Don’t miss two sets of stunning prints at two venues.
1）Frederick Harris Gallery, Tokyo American Club (TAC) B1
2-1-2 Azabudai, Minato-ku, Tokyo
October 8 (Tue) –November 5 (Tue)
2) Hillside Forum, Daikanyama, Tokyo
October 16 (Wed) –20 (Sun)

**CWAJ Print Show Online Gallery**Open: October 22 (Tue), 20URL:https://cwaj-gallery.jp24 9:00 JST Close: October 27 (Sun), 2024 18:00 JST
 ※We ship overseas.

The 67th Print Show will include the annual Hands-on Art exhibit, CWAJ’s unique program that transcribes prints exhibited at the show into touchable images for visually impaired attendees.

We look forward to welcoming you to the 67th CWAJ Print Show!

**２．2024年Hands-on Artへのお誘い**

Nancy Tsurumaki（ナンシー・ツルマキ）田中 紀子

（2024年HoA コーディネイター）

毎年恒例の CWAJ 版画展のハンズ・オン・アートがもうすぐ開催されます。今年のハンズ・オン・アート、

コーディネーターとして、今回の鑑賞していただく版画についてお知らせできることを大変嬉しく思っています。

みなさん、こんな場面を想像してみてください—予め約束した時間に、CWAJのボランティアが駅で迎えて、版画展に案内してくれる、会場に着くと、高い天井の下、明るく照らされたギャラリーに入り、会場全体に、美しいオリジナルの版画があふれている！そしてハンズ・オン・アートのテーブルに案内されて、今年選ばれた 4 人のアーティストの版画が紹介されるのです。作品を、立体画像にすることをご諒承くださった この４人のアーティストに感謝申し上げます。また、できるだけ鮮明な立体版画を作成するために、専門知識を提供しご協力くださった日本点字図書館の点字制作チームの皆さんにも、感謝を表します。

今年は非常に繊細なデザインの版画を 4つ選びました。以下のとおりです。

* 秋山豊英（あきやま　とよひで）　タイトル「カエル 」
* 廣田雷風（ひろた　らいふう）　　 タイトル「ピアニスト」
* 金子邦生（かねこ　くにお）　　　タイトル「こいのぼり」
* 宮本承司（みやもと　しょうじ）　タイトル「胡蝶鮨」（こちょうずし）
* （各作品の紹介）

＊秋山豊秀（あきやまとよひで）氏は~~ー~~動物をモチーフにした版画を頻繁に制作していますが、今年は

「カエル」という、ヒューマニスティックな版画でそのテーマを続けておられます。

＊廣田雷風（ひろたらいふう）氏は、2022年にアーティスト・トークで赤いピアノの版画を発表されました。 （ご記憶の方もおられるでしょう）　今年は「ピアニスト」というタイトルで、ピアノのテーマを継続されています。

\* 金子邦夫（かねこくにお）氏は、色とりどりの鯉が泳ぐ版画をよく制作されていますが、今年は鯉のぼりが空を翔ぶ版画を制作されました。そのタイトルは、なんと「カブト氏ハリウッドへ行く」。

\* 宮本昭二（みやもとしょうじ）氏は、「寿司」をテーマにした非常に想像力豊かな版画を制作されました。

この版画展に、たくさんの方が参加し、これらの素晴らしい立体版画に触れたり、ギャラリー内の展示を巡り、みなさんで興奮を分かち合っていただけたらと願っています。申し込み方法の詳細については、9月中にメールでお知らせします。

ここに、Nancyからオリジナルの英語メッセージをいれます。

The Hands-on Art Exhibit at annual CWAJ Print Show is coming soon. As the Hands-on Art Coordinators of this year’s show, we are very excited to share with you some details about the prints at the 67th Print Show..

Imagine being met at the train station at a mutually agreed upon time, and being escorted to the Print Show by a CWAJ volunteer guide. As you walk into the brightly lit gallery, with raised ceilings, you will find every open space covered with beautiful original prints. You will be guided to the Hands-on Art table, where you will be introduced to four artists’ prints, which were selected this year. We thank the four artists who gave us permission to make raised

images from their prints. We also thank the printing team at the Japan Braille Library for sharing their expertise with us, so that we could get the clearest prints as possible.

This year we selected four prints that are quite detailed.

Mr. AKIYAMA Toyohide often designs and makes prints of animals, and this year he is following the theme with a humanistic print called “*Frog*”. Mr. HIROTA Raifu, previously shared his piano print with HoA in 2022, is continuing the piano theme this year with his print “Pianist”. Mr. KANEKO Kunio often has prints with colorful carp swimming, and this year he made a print of a *koinobori* or carp streamers flying in the air. He named the print *Mr. Kabuto Goes to Hollywood.* Then Mr. MIYAMOTO Shoji made a very imaginative print with*‘sushi*’as the theme.

We hope that many people will have the chance to attend the print show and share our excitement, touching these amazing raised prints and touring the show around the gallery.

An email with more detailed information about how to sign up will be sent in September.

**3. CWAJ奨学金制度について　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　田中紀子　（奨学金制度SVI担当）**

CWAJ視覚障害学生奨学金についてのお知らせ

CWAJは1978年に日本ではじめて視覚障害学生を対象とした給付型奨学金を設立しました。

現在、日本国籍あるいは日本国特別永住権をもつ、視覚に障害のある学生を対象に、2025年度

奨学生の募集を行っています。

（1）視覚障害学生国内奨学金（募集人数：２名　支給額： 各１００万円）

―2025年度に日本の大学・大学院で勉学する方が対象

（2）視覚障害学生海外留学大学院奨学金（募集人数：１名 支給額：２００万円）

―2025年度に海外の大学院等へ留学を希望する方が対象

どちらの奨学金も、奨学生は、学業成績、研究課題の質と実現性、社会貢献への可能性を基準に

選考され、年齢や専攻分野の制限はありません。応募時に社会人の方でも応募できます。

応募しめきりは2024年11月8日（金曜日）です。

詳細は、以下のURLでご確認いただけます。

1. 視覚障害学生国内奨学金

<https://cwaj.org/jp/scholarship/scholarship-visually-impaired-to-study-in-japan/>

1. 視覚障害学生海外留学大学院奨学金

<https://cwaj.org/jp/scholarship/graduate-scholarship-for-non-japanese-women-to-study-in-japan-njg/>

４．編集後記

VVI Newsletter Autumn Issueをお読みいただいて、ありがとうございました。

今回は、CWAJからのご案内、お知らせをテーマに編集しました。たくさんの皆さんが、代官山に足を

運んでくださって、Hands-on Artの４作品や、ギャラリー全体のたくさんの版画を鑑賞していただける

よう、お待ちしています。間もなく、VVIの担当者から、ご案内が送られる予定です。

また、今年もCWAJ独自の、視覚障害学生向けの奨学金制度の募集が始まっています。ひとりでも

多くの皆さんに、勉強継続の機会が広がることを願っています。

そして次号には、ご案内した版画展とハンズ・オン・アートについて、担当者からの報告や参加して

くださった方々からのご感想を掲載する予定です、どうぞお楽しみに。

編集担当：いしいふみこ

配信担当：もとむらみちこ